

会 議 録

会議名 (審議会等名)		令和元年度 相模原市総合計画審議会 第1回進行管理部会				
事務局 (担当課)		企画政策課 電話042-769-8203(直通)				
開催日時		令和元年7月30日(火) 18時00分~20時00分				
開催場所		相模原市役所本庁舎本館2階 第1特別会議室				
出席者	委員	9人(別紙のとおり)				
	その他	0人				
	事務局	11人 (企画政策課長 他10人)				
公開の可否		可	不可	一部不可	傍聴者数	1名
公開不可・一部不可の場合は、その理由						
会議次第		開会 1 議事 (1) 令和元年度の総合計画等進行管理について (2) 1次評価の結果等について (3) その他 閉会				

審 議 経 過

主な内容は次のとおり

(委員の発言、 会長の発言、 事務局の発言)

開会 椎橋企画政策課長

1 議事

吉田会長の進行により議事に入った。

(1) 令和元年度の総合計画等進行管理について

資料に示されている評価の視点に基づいて1次評価をされたという理解でよいか。

これは2次評価にあたっての視点である。審議会における2次評価において、この視点に基づいた評価をお願いしたい。

2次評価確認シートというのは、2次評価対象施策とモニタリング対象施策のどちらとも必要か。

お見込みのとおり。

2次評価の視点は6点あるが、視点ごとに意見を述べるべきか。

視点ごとにご意見をいただくというのではなく、これらの視点を念頭に置いたご意見をいただきたい。

2次評価確認シートについては、自由意見欄を割愛するなどの簡略化を図られたい。

承知した。

評価の視点において「目標が達成されていない場合、その問題・課題及びその原因分析がデータ等を踏まえてなされ、具体的な改善方策が実施されているか」とある。「改善方策が実施されているか」は、いつの時点を見て判断すればよいか。

2次評価対象施策については、適切な原因分析や改善方策が示されているかという視点でご確認をいただければ幸い。モニタリング対象施策については、平成29年度実績を踏まえて改善工程表を作成している。これに基づいて実施された平成30年度の取組が適切であったかを評価いただきたい。

例年、2次評価では「縦割りで事業を進めるのではなく、庁内横断的に取組を推進されたい」という旨の指摘がある。このような視点も意識した評価をした方がよい。

進行管理シート上に「他の部局との庁内横断的な取組」という項目があるはずなので、そこの記載内容をよく確認してほしい。

評価の視点としては、「事業の拡充ばかりではなく縮小すべきところは縮小する」という点も重要。

進行管理シートにおいて施策推進のための経費として決算額が記載されており、人件費も計上されている。この人件費については、職員一人当たりの平均値を基にして積算されているようだが、実人件費としようとした場合、どのような課題があるのか。各セクションの配置人数や給与から実人件費を算出することは可能ではないか。実人件費を示しつつ、総事業費に対する人件費の割合を示すことはできないのか。

試行的に積算を行い、課題の有無などの検証を行うこととしたい。

各種資料について、元号ではなく西暦で表現することはできないか。改元により分かりにくさが生じている。特に統計データについては、推移を確認する際に混乱を招きかねない。

庁内における文書事務の規程において元号を用いることとなっていることから、事業課から収集したデータを含めてすべての資料において対応することは困難な部分もあるが、可能な範囲で対応を図ってまいりたい。

(2) 1次評価の結果等について

指標が7つもある施策もあるが、次期総合計画では5つ以内にしていく方向ということでよいか確認したい。あまりに指標が多いと市民の方が評価を見た際に印象が拡散してしまう可能性がある。

次期総合計画で設定する指標は1施策あたり5つ以内としている。

指標の中には実績値が空欄になっている指標がある。これは、数年に1度しか実績を捕捉できないということだと思うが、進行管理は毎年度実施していくものであることから、次期総合計画においては毎年捕捉できる指標を設定することが望ましい。

次期総合計画の指標設定においては、毎年度捕捉できる指標とすべく検討中である。

平成29年度実績と平成30年度実績を比較して、成果指標がB評価からA評価となるなど達成度に改善がみられている場合でも、例えば達成するペースが遅いなど事業の取組に改善すべき点がある場合には、総合評価はB評価もしくはC評価ということはあるという理解でよいか。

お見込みのとおりである。指標の達成度は実績値を基に客観的に、いわば自動的にA～Dの符号で評価が判定される。一方、総合評価では、指標の達成度、事業の取組結果、事業推進に要した経費などを総合的に勘案し、評価いただきたい。

目標値を大幅に超えて達成している指標については、目標値の見直しを行っているが、目標の再設定は事業費の増額を前提としていないという理解でよいか。

目標値のみを見据えて事業費を設定しているわけではなく、大前提として「最少の経費で、最大の効果を」という考え方であるため、事業費を増額するという考えではない。

1次評価の説明で、「指標の達成はしていないものの、一定の効果が見られることからB評価とする」というものがある。この「一定の効果」の根拠は、進行管理シートに記載があるという理解でよいか。

必ずしもすべてのデータが進行管理シートに記載されているとは限らないので、評価に際して必要なデータがあれば、ご意見いただきたい。

行政は多様な目的を持っていることから、単に成果指標、業績評価指標の達成度のみで施策の総合評価を決めることはできない。多様な目的の一部を指標とし

て単純化し、その達成度を施策評価の判断基準の1つとするということであり、そのフォローのために総合評価の説明欄が設けられている。しかし、最近の総合評価の説明欄では、指標を達成できなかった「言い訳」のような説明が多く判断がしづらいところがある。指標の達成度に変化がないにもかかわらず、総合評価を上げるというのであれば、むしろ適切な指標設定を行うべきというのが一般的な考え方である。

成果指標や業績評価指標の達成度と整合する1次評価であれば、妥当性は判断しやすいが、指標以外の要因により総合評価を行っている施策については、判断がしづらい。判断のために確認したいことがあれば、2次評価確認シートによって質問すればよいということか。

お見込みのとおりである。まずは、進行管理シートをご確認いただき、不明点等があれば、ご意見いただきたい。

評価の視点で「施策を構成する事務事業が目標達成に貢献する事業として適切であるか」というものがある。事業そのものが適切かという視点において「当初は適切であったが、目標を達成している現在においては、別の新たな事業を実施すべき」というような指摘もありうるとうことでよいか。

お見込みのとおりである。

進行管理シートにおいては、施策を構成する主な事業が記載されており、そこには平成30年度の「指標・目標」や「実績・評価等」も記載されているので、このあたりをよく確認いただければ結構かと思う。

先ほど「庁内横断的な取組」という話があったが、人やお金という資源の投資量や事業内容・量ともに適切ではあるものの、事業の進め方や組織的な課題により、施策の推進に課題があるという場合も、指摘事項として意見してもよいのか。

先にもあったとおり、進行管理シートにおいて「他の部局との庁内横断的な取組」を記載する欄があるので、ここをご確認いただいた上で、必要があれば指摘事項として意見いただければよい。

事業所管課では気づけない部分もあろうかと思うので、是非、横断的な取組についてのご指摘もいただければと考えている。

進行管理シートにおいて、「前年度の1次評価で示した改善策の取組結果」が記載してあるが、この点の妥当性を確認するには、昨年度の評価結果を確認する必要があるということか。今年度の2次評価において、昨年度の評価で示された「改善策」について改善を求める必要も生じうると考えている。

必要に応じて、昨年度の評価もご確認いただきながらご指摘をいただきたい。

確認だが「施策36 都市農業の振興」の1次評価の説明において「市内農産物の生産拡大が見込まれる」とある。「見込まれる」ことが確実なのであれば、「十分に事業の効果が現れている」と判断できるので、A評価とすべきと考えるが、1次評価はB評価となっている。これは、どのような理由か。

この「見込まれる」というのは、所管局の自己評価であり、この説明をもって2次評価をA評価と判断されるのではなく、その妥当性も含めてご意見いただきたい。

全体的に、「評価のための評価」のようになってしまっており、いかに事業改善を行うかという最も重要な意識が希薄化しているような感じもある。「このような指標、目標値にしておけばよいだろう」という意識が垣間見える施策も散見される。このあたりの改善については、事務局としても検討していただきたい。

「評価のための評価」とせず、改善活動の実効性を担保する意味でも、例えば進行管理の資料を予算要求や査定の基礎資料として用いるようなことはしてもらいたい。

過去の評価では、成果指標を重視してきたが、施策によっては毎年捕捉できない成果指標もある。審議会からの意見によって毎年捕捉できる業績評価指標を設けるという改善も図られてきたが、やはり改めて進行管理シートを確認すると業績評価指標としてこれでよいかという疑問が生じるものもあるので、業績評価指標の妥当性についても審議会の場で議論していく必要はあろうかと思う。

そういう面では、指標名も同様であり、行政が最終的な成果としている数値目標について、市民が見て分かりやすい表現に改めていくことも必要だろう。

改善率の推移を図で示すことはできないのか。

進行管理シートにおいて、指標ごとの達成率は過去5年分の数値が示されているので、推移はご確認いただけたと思うが、現在のところグラフ等による示し方はできていない。

施策に対する市の自己評価について、議会ではどのような議論、審議が行われているのか。いくつかの施策を抽出して審議が行われるのか、もしくは全般的な審議が行われるのか。

決算の審議が行われる際、施策全般について審議いただいているが、常任委員会において個別施策についてご質問をいただくということもある。最終的には、決算議案を承認いただくという行為をもって施策の評価もいただいていると理解している。

常任委員会が所管する施策について、いくつかピックアップして集中的に審議するということはないのか。

特段、個別の施策や事務事業をピックアップして審議するということはない。常任委員会が所管する施策、事務事業全般が審議対象となる。

議会において、建議書を参考に質問をされたという経緯もあると伺っている。そういう意味では、審議会での議論も有用であると言える。

公募委員として参画させていただいているが、すべての施策や事務事業について理解して意見を言うことは現実的に困難な面があるので、ご容赦いただきたい。

是非、市民感覚を発揮していただき、普段の生活の中で、“おかしい”と思う点があればご指摘いただければ結構である。

事務事業所管課に対してヒアリングを行う場はないのか。

以前は、ヒアリングを行っていたが、次期総合計画策定の審議も行っている中、審議会委員の負担が大きくなってしまいうことから昨年度、今年度については、ヒアリングは実施しない方向となっている。

会長からのご説明のとおりだが、事前に質問をご提出いただければ、事務局が事務事業所管課に確認を行い、回答をお示しさせていただきます。

進行管理シートに「前年度の1次評価で示した改善策の取組結果 (act)」という欄があるが、2次評価での指摘を踏まえた改善策はどのように示されるのか。

2次評価結果は建議書としてご提出いただくこととなるが、建議書の内容については、来年度の予算編成に反映するよう努めるとともに、ご指摘いただいた事項に対しての改善策を「対応方針」として所管局が作成し、この対応方針に基づいて事務事業に取り組んでいくこととなっている。また、2次評価がB評価以下であった施策については「改善工程表」を作成し、来年度もモニタリングとして審議会においてご審議いただくこととなっている。

改善策 (act) の評価を行う際、前回の2次評価に対する改善策を見るべきか、前年度実績に基づく改善策を見るべきか。

前回の2次評価の改善策も踏まえて前年度実績が出ているということなので、前年度実績に基づく改善策をご確認いただきたい。

施策・事務事業の総合評価の基準において「成果指標の評価、施策を構成する事業の取組結果、業績評価指標の評価、施策推進のために要した経費などを総合的に評価」とある。しかし、1次評価における総合評価の要旨には、経費について触れられている施策が無いのには理由があるのか。もしくは、経費削減等の際立った取組がなかったという理解でよいか。

総合評価の要旨に、経費に関する記載がないという点においては、特別に評価できる点がなかったため、とご理解いただければと考えている。

モニタリング対象施策について、改善内容の評価を行っていくものと思うが、改善工程表に示されている内容の妥当性については、既に審議されているものと理解してよいか。

改善工程表については、審議会に対して書面にて報告させていただいているが、審議は行われていないので、今年度の審議の中でご意見をいただきたい。

(3) その他

今後のスケジュールについて、事務局から説明を行った。

本日の議事は終了とする。

閉会

椎橋企画政策課長

以 上

相模原市総合計画審議会委員出欠席名簿

	氏 名	所 属 等	備 考	出欠席
1	吉田 民雄	総合政策プランナー	会長	出
2	金森 剛	相模女子大学人間社会学部社会マネジメント学科教授	副会長	出
3	朝山 あつこ	認定 NPO 法人キーパーソン 21 代表理事		欠
4	隅河内 司	田園調布学園大学人間福祉学部教授		出
5	長野 基	首都大学東京都市環境学部都市政策科学科准教授		出
6	横田 樹広	東京都市大学環境学部環境創生学科准教授		出
7	今岡 英一郎	公募委員		出
8	松平 菜保子	公募委員		出
9	山口 正子	公募委員		出
10	渡邊 健一	公募委員		出